

復刻版

THE Y's MEN'S CLUB of TOKYO GREEN

The Service Club Of The YMCA

2023.03



東京グリーン

Chartered 1973

〒135-0016
東京都江東区東陽 2-2-20
東京 YMCA 東陽町センター内
TEL 03-3615-5565 FAX 5578



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2023.03 >

BULLETIN

2022年7月~2023年6月

会長 樋口 順英
副会長 青木 方枝
書記 樋口 順英
会計 柿沼 敬喜
監事 柿沼 敬喜
監査 西澤 紘一
担当主事 木村 卓司

国際会長 ウルリック・ラウリドセン 主題「輝かそう、あなたの光を」(デンマーク)
同スローガン「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」
アジア太平洋地域会長 シェン・チ・ミン 「新しい時代と共にエレガントに変化を」(台湾)
東日本区理事 佐藤重良「未来に向けて今すぐ行動しよう」(甲府 21)
関東東部部長 工藤大丈「新規技術(テクノロジー)を縦横に駆使し、効率を重んじる。
すべては、プレミアムな価値と体験を産むために」(東京ベイサイド)
クラブ会長 樋口順英「安全・愉快・安心」(東京グリーン)

3月 レント (受難節)

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである」(ヨハネによる福音書 3章 16節)

: イエスがユダヤ人に捕らえられ大祭司の審判の後、ピラトの下で十字架刑が宣せられた。紀元後 32 年の春、金曜日の午前 9 時ごろだったと言う。イエスの死と復活の幕開けである。

2023年03月 設立50周年記念例会

3月の強調月間、「グリーンプロジェクト」

日時: 2023年03月21日(火・祝) 13:30~16:30
場所: KKR ホテル東京、10F「瑞宝」
地下鉄東西線竹橋駅下車10分、(出口3b)
千代田区大手町1-4-1、電話: 03-3287-2921

<第1部>

開会点鐘 樋口 会長
ワイズソング・ワイズの信条 全 員
聖句・お祈り 古平 光市
会長挨拶(歓迎の言葉) 樋口 会長
来賓祝辞 東京YMCA副総主事 星野 太郎
東日本区 理事 佐藤 重良

<第2部> ミニコンサート(ピアノトリオ)アンディムジーク

<第3部> 記念祝会

謝 辞 50周年記念実行委員長 柿沼 敬喜
閉会点鐘 樋口 会長

▼ワイズメンズクラブ国際協会は、2010年8月に横浜で開催された第69回国際大会において、「横浜宣言」を採択し、地球環境保護への取り組みを進め、カーボンニュートラル(活動に伴う温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる)な組織となることを決意しました。

▼これを実現するために、国際大会、地域大会参加者に、一定のカーボンニュートラル献金を求めたり、主にYMCAの様々なプロジェクトを支援したりしてきました。

▼プロジェクトの例としては、YMCA施設へのバイオガスプラント・コンポストシステム導入、照明のLED化、太陽熱温水システム・太陽光発電システムの設置などがあります。(行政監事・田中博之メンによる)

◆「グリーン」にちなみ、東京グリーンの名前の由来を調べてみました。

50年前1973年設立当初、若いメンバーが多く、フレッシュなクラブにしようと、そのイメージを色にたとえて「グリーン」としたそうです。(樋口 調査)

【例会出席率】 在籍: 14名 2月出席率 8/12 75%

出席: 2月 東京 YMCA 東陽町センター+Zoom
(メン8名、メネット0名) 計8名

【ニコニコ】 ¥0

◆2023年2月 第一例会 報告

日時:2023年2月15日(水) 18:30~20:30

場所:ハイブリッド会議(東陽町センター,Zoom 併用)

出席者:(リアル)青木、柿沼、古平、根本、木村、樋口
(Zoom)西澤、佐野

厳寒の中、開始時間を従来通りに戻し、18:30開始とし、Zoom 併用にて開催しました。東西交流会のお土産、亀井堂総本店(神戸元町)の瓦せんべいを味わいました。



古平メンによる聖句



青木メン

クラブ協議事項

- 1) 設立50周年記念例会準備状況(柿沼メン)
 - ① 当日の役割分担案の説明
 - ② プログラムの時間割の説明
- 2) 今年の「神田川船の会」開催日について
 - (1) 第87回: 6月10日(土)に決定
 - (2) 第88回: 10月28日(土)又は11月4日(土)

報告事項

- 1) 2月4日~5日東西交流会参加報告
- 2) 3月4~5日東日本区次期会長、部役員ワークショップ(研修会)がYMCA 同盟東山荘にて開催予定
- 3) 3月10日~12日ワイズ国際協会(YMI)100周年祝賀会が台北で開催
- 4) 4月13日(木)チャリティーゴルフ大会
- 5) 6月3日~4日東日本区大会(甲府)
- 6) 11月26日(日)熱海クラブ創立60周年記念例会
(樋口 記)



木村メン



根本メン

◆2023年3月 第二例会 報告

日時:2023年3月8日(水) 15:00~17:00

場所:Zoom会議

出席者:青木、柿沼、木村、佐野、高谷、西澤各メン
審議事項

- 1) 3月21日(火・祝)設立50周年記念例会の最終確認(柿沼メン)
- 2) 6月10日(土)第87回神田川船の会の実施要領決定、チラシ作成印刷中。
若いサポーターを募集し、会の活性化を図りたい。(柿沼メン)
- 3) 4月19日(水)18:30~第一例会卓話者決定
卓話者:佐藤 健氏
(千葉 YMCA 千葉市少年自然の家 所長)
演題:「アマチュア天文家の愉しみ」

報告事項

- 1) 3月4日(土)~5日(日):次期会長研修会参加報告;東山荘(樋口メン):理事通信3月号ご参照
- 2) 2月17日(金):YMCA 全国リーダー研修会報告会&交流会:青木、樋口メン参加
- 3) 3月10日~12日:ワイズ国際協会(YMI)100周年祝賀会が台北で開催:当クラブ参加者なし
- 4) 4月13日(木):チャリティーゴルフ大会→当クラブ西本晃子メン出場予定

主な行事予定

- 1) 6月3日(土)~4日(日):東日本区大会(甲府)
- 2) 6月10日(土):第87回「神田川船の会」
- 3) 7月29日(土):関東東部第1回評議会(東陽町)
- 4) 9月30日(土):関東東部部大会(船橋)
- 5) 9月30日(土)~10月1日(日)YVLF
- 6) 11月3日~5日:アジア地域大会(香港)
- 7) 11月18日(土):関東東部第2回評議会(東陽町)
- 8) 11月26日(日)(イイフロ)熱海クラブ創立60周年記念例会
(樋口 記)

◆お知らせ◆

今月号のブリテン表紙は、2007/8年度まで使われていたものを、復刻使用いたしました。隅田川から西の東京の観光スポットが楽しく描かれており、なかなか好評だったそうです。また、神田 YMCA が描かれ、まだスカイツリーがなかったころのなつかしさが感じられます。この表紙の図柄の歴史、由来、作者などについてご存知の方は、ご一報ください。

フリテン図書館

荒地の家族(2022 年度芥川賞)

佐藤厚志著
文芸春秋社



東日本を襲った 3.11 の大震災が、市井の平穏な家族を如何に翻弄させたかを一人の植木職人、坂井裕治一家を通して描いた佳作である。仙台の南に位置する巨理町が物語の舞台である。あの大地震と

津波に襲われた裕治の妻が、津波から助かったにもかかわらず 3 歳の裕太を残して亡くなる。震災後の後妻として来てくれた知加子も、流産を期に家を出てしまった。一方、裕治の幼馴染で、父の元部下の六郎の息子で、裕治の同級生であった明夫、裕治が初めて世話になった造園会社の上司野本らが震災で心に傷を残したまま日常で絡み合うストーリーになっている。津波を「膨れる海」と表現したり、海と陸とを断絶する防潮堤、更地に立つ電信柱・・・などの単語は被災者でなければ出てこない言葉である。それだけにリアリティがある。

大震災をテーマとした小説は多いが、いずれも直接間接に災害に逢った経験が語られることが多い。しかし、この小説は、10 年近い時間軸を使って、震災が、現在の彼らの心に影を落とし幾多の夢をも奪ったかを克明に描写している。津波で直接亡くなった人物は出てこないが、しかしいずれの登場人物も地震と津波によって人生を狂わせられた。もし、津波がなければ平凡で幸福な人生を送っていたかも知れないし、大きな負の資産を背負いつつ元に復帰するための努力もしなくて済んだかも知れない。「苦しんでいるのは、震災後の時間である」との感想を持った読者が居たとのこと。まさに正鵠を射ている。

私たちは、不可抗力の天災で苦しんでいる人々に対して、慰めの言葉をかけ、金銭的な支援をすることがある。しかし、1 か月も経過すると忘れてしまう。

東日本震災、熊本地震、トルコ・シリア地震・・・いずれについても記憶が薄れつつある。しかし実際に被災した人たちは、一時的に多大な辛苦を受けたばかりでなく、その苦しみ悲しみを今も受け続けているのである。

著者は、3.11 の出来事を忘れないでね。現在もその悲しみを引きずっている多くの被災者が居ることを想像してほしいと訴えている。

(西澤 記)

YMCA コーナー

1. 1月28日、「第17回子育て講演会」がオンラインで開催され、講師の大豆生田啓友氏(玉川大学教育学部教授)より「いまどきの子育てで大切なこと～幸せ子育てのコツ」をテーマに講演が行われました。子育て中の保護者を中心に約200名が参加し、好評でした。子育て講演会実行委員会(会員有志)が企画・運営を担い、25の企業・団体より協賛をいただきました。
2. トルコ・シリア大地震緊急支援募金



2023年2月6日に発生した地震で被災した人は、2,300万人以上(WHO・うち140万人が若者)と伝えられています。

厳しい寒さの中、体調や、衛生面、メンタル面も課題になってきます。YMCA では「トルコ・シリア大地震緊急支援募金」を実施し、長期化が予想される不安な避難生活の中で一人ひとりが大切にされ、健康が守られるよう、現地の活動を支えます。皆様のご協力をお願いいたします。

通常、YMCA の被災地支援は現地や近隣のYMCAを通して行いますが、トルコとシリアにはYMCAがないため、今回お寄せいただきました募金は、YMCAとつながりのあるACT Alliance(アクトアライアンス)を通して現地の支援に用います。

Act Allianceは、日本YMCA同盟が加盟しているNCC(日本キリスト教協議会)や、WCC(世界キリスト教協議会)など145の教派を超えた関係教会・団体によって構成される組織で、本部はジュネーブにあり、世界120か国以上で人道支援・開発支援・政策提言を行っています。詳しくはこちら



3. 今後の主な行事日程
3月11日「東日本大震災記念講演会」
会場:東陽町センター(オンライン参加可)
講師:木島上氏(インターサーブ・ホスピタリティ開発事務所代表取締役)
(木村 記)